熊本の“いま”を読む地域経済情報誌

昭和61年5月9日第3種郵便物認可（毎月30日発行）令和5年4月30日発行

くまもと経済

5月号 2023
VOL.503

表紙の人 Cover Story

新原 昇平 熊本国際空港社長

新旅客ターミナルビル開業、路線誘致に弾み

特集

春闘 29年ぶりの高水準

物価高、人材確保で賃上げ加速

「県営25ha」菊池テクノパーク西側に　県内工業団地

「完全復興」へ加速する益城町

県内建設業　完成工事高順位

2023年5月号　くまもと経済　vol.503　表紙

世の中を動かすエンジンに

4月5日　崇城大学

崇城大学体育館で開かれた入学式には、大学871人、大学院73人の計944人が入学した。中山峰男学長は「IoTやAIが普及し、十数年後、今ある仕事の半分は無くなり、今は存在しない仕事が半分以上を占め、デジタル化が急速に進むことにより、社会システムも大きく変わります。世の中が大きく動くとき、そのエンジンは常に若者が担ってきました。若い皆さんの力が強く求められています」と式辞を述べた。

▲入学生を代表し宣誓する薬学部薬学科の藤原吟汰郎さん

▲大学871人、大学院73人の計944人が入学した

中山 峰男
学長

▲神妙な面持ちで宣誓文を手渡す藤原さん

崇城大学IOT・AIセンター

大手半導体企業と共同でDX推進に向け実証実験

崇城大学IOT・AIセンター（熊本市西区池田4丁目、星合隆成センター長）は2月から、半導体関連製品開発大手のソニーセミコンダクタソリューションズほか2社と共同で、地元DX推進のための実証実験を始める。

同センターとソニーセミコンダクタソリューションズ㈱（神奈川県厚木市）、㈱ヘッドウォータース（東京都新宿区）、FastLabel㈱（東京都品川区）の3社による、地域DX推進のためのパートナー事業の一環で、DX人材の育成、DXハブの構築、地域DXの開発などの各事業推進に向けた実証実験を実施するもので、最先端のセンシング技術（感知器で計測した情報を数値化する技術）、アノテーション技術（デジタル情報にメタデータと呼ばれる情報タグを付与する技術）、AI・IoT技術の実装技術などの技術提供を受け、約3年間にわたり実証実験を実施する。

アートアワード受賞者作品巡回展

お菓子の香梅

㈱お菓子の香梅（熊本市中央区白山1丁目）は4月7日、第14回香梅アートアワードの受賞者作品巡回展開会式を帯山店で開いた。

同アートアワードは熊本出身または在住で優れた芸術活動を続ける女性芸術家を顕彰する賞。今回のアートアワードは若手作家に贈る奨励賞2人で、日本画家の佐藤和歌子さんと造形作家の松岡志保（gaju）さんが受賞した。

開会式には約50人が出席。冒頭に副島隆会長があいさつ。続いて審査員の日沼禎子女子美術大学教授、楠本智郎つなぎ美術館主幹・学芸員が受賞者の紹介や作品の見どころなどについて解説した。受賞者は「これを機に今後も作品づくりをがんばっていきたい」と感想を述べていた。

同巡回展はお菓子の香梅帯山店に続き、菊池店、人吉店、光の森店で催される。

▶副島隆お菓子の香梅会長と、受賞者の佐藤さん（左）、松岡さん（右）

▲帯山店のアートスペースで開かれた開会式

お菓子の香梅

アートアワード受賞者作品巡回展を開始

㈱お菓子の香梅（熊本市中央区白山1丁目、副島健史社長）は4月8日から6月10日まで、第14回香梅アートアワードの受賞者作品巡回展を開く。

「香梅アートアワード」は熊本出身・在住で優れた創作活動を続ける女性芸術家を顕彰する芸術賞で、今回のアートアワードは、若手作家に贈る奨励賞2人で、日本画家の佐藤和歌子さんと造形作家の松岡志保(ｇａ・ｊｕ)さんが受賞した。審査員は、楠本智郎つなぎ美術館主幹・学芸員、日沼禎子女子美術大学教授、同社の副島隆会長が務めた。

受賞者2人の作品や活動を展示する巡回展の日程は、帯山店（4月8日～20日）、菊池店（4月22日～5月11日）、人吉店（5月13日～25日）、光の森店（5月27日～6月10日）で開催。